



ザンビアの経済概況・月報(2018年10月)

主なマクロ経済指標	2017年	2018年
1. 人口 (百万人)	16.59(2016)	-
2. 人口増加率 (%)	3.00(2016)	-
3. 失業率 (%)	41.2	41.2(2017)
4. 平均寿命 (年齢)	51.1(男性)/54.4(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	21,064(2016)	-
6. GDP成長率 (%)	4.2(proj)	4.0(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,360(2016)	-
8. インフレ率 (%)	6.1(Dec)	8.3(Oct)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	201.18(Dec)	213.42(Oct)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-568.3	-1,161.27*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	128.58*4	94.08*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	8,150.1	6,953.84*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	179.54*4	137.12*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	8,718.4	8,115.11*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	50.96*4	43.04*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-932(2016)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	37 (2016)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	469(2016)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,430(Dec)	1,629(Sept)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	7,900(Dec)	9,510(Sept)
21. 為替レート (対米ドル)	9.53ZMW	11.91ZMW (Oct)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	10.25 (Dec)	9.75 (Oct)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 GDP at market prices (Current USD)
*2 2018年1月から9月までの貿易額。1USD=9.98ZMW (2018年9月までのザンビア中央銀行為替相場月平均)を用いて換算
*3 2018年1月から9月までの貿易額。1USD=110円 (2018年9月までの日銀基準外国為替相場月平均)を用いて換算
<2018年9月>
主要輸出品目: 電解精錬用の銅陽極/精製銅陰極/精製銅の板、シート及びきれ/粗銅/硫酸/発煙硫酸
主要貿易相手国(輸出): スイス 43.0%, 中国 16.2%, シンガポール 9.8%, コンゴ(民) 9.7%, 英国 6.5%, その他 14.8%
主要輸入品目: コバルト酸化物及びコバルト水酸化物/工業用のコバルト酸化物/銅精鉱/硫化精鉱/石油/瀝青質の鉱物から抽出される油
主要貿易相手国(輸入): コンゴ(民) 25.6%, 南ア 23.3%, 中国 11.6%, アラブ首長国連邦 5.6%, クウェート 5.2%, その他 28.7%
*4 1USD=112円 (2017年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典>
1, 2, 5-7, 20: World Bank / 3: Zambia Labour Force Survey Report, 2017 (CSO & Ministry of Labour and Social Security) / 4, 16: The World Factbook (CIA) / 8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report / 19, 21: Country Report (EIU) / 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 21, 22: Bank of Zambia

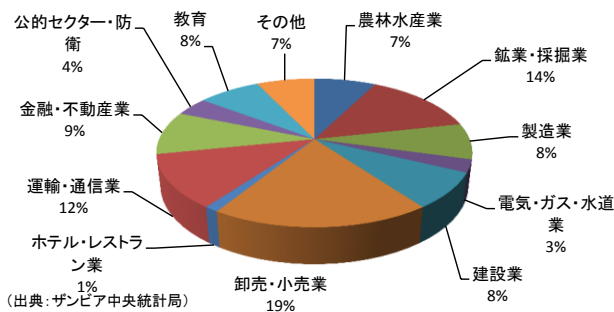
<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎に、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成(2018年第1四半期)



主要な経済ニュース(10月)

1. 燃料価格が値上げ(Daily Nation, 3日)

エネルギー規制委員会(ERB)は、対米ドルのクワチャ安及び原油の国際価格高騰を理由として、2日深夜から燃料価格を値上げした。今回の値上げにより、それぞれ1リットルあたり、ガソリンは2.31クワチャ増の16.06クワチャ、ディーゼル燃料は2.64クワチャ増の14.65クワチャ、灯油は2.49クワチャ増の11.34クワチャとなる。

2. 国際投資家らが投資を促される(Daily Mail, 12日)

インドネシア・バリ島で行われた2018年IMF・世銀年次総会においてムワナカトウェ財務大臣は、製造業、農業バリューチェーン、観光業、エネルギー及びインフラ開発の分野で、ザンビアにおけるグリーンフィールド投資の成功が見込めると、投資家に対し述べた。また、同大臣は、その他の投資可能分野として、貴金属サブセクターを挙げた。さらに同大臣は、ザンビアの中国からの借入は対外債務総額の30%以下であり、債務が持続可能な範囲に留まるよう、措置を実施していると発言した。

3. 世銀、債務管理を継続するようザンビアに助言(Times, 15日)

トロツツエンバー世銀副総裁は、効果的な経済運営に貢献し、公共福祉を保障するため、引き続き債務管理を確実に実行していくよう、ザンビア政府に呼びかけた。同氏はザンビアに対し、新興市場及び開発途上国として、世銀の国際開発協会(IDA)のような、多国間の資金源からの譲与的貸付を選択するよう促した。

4. 政府、公共投資管理システムを設立(Times, 21日)

国家開発計画省を通して政府は、事業実施前の主要プロジェクトの精査を確実にするため、公共投資管理システムを設立している。ムヴンガ官房長官代理は、無数のプロジェクトが同時に実施されていることを例として挙げた上で、政府は公共投資プロジェクトの運営において存在する課題に関して承知していると述べた。同氏は、限りある国家資源の利用において、透明性、アカウントビリティ及び効果性の強化に注力していくと発言した。

5. 政府とIMFの協議が継続(Daily Mail, 26日)

更なる財政支援確保の可能性のために、ザンビア政府はIMFとの協議を促進する基盤を形成する方策を引き続き講じていく。ムワナカトウェ財務大臣は、ザンビアの援助国・機関との協力における贈与の使用は、透明性、アカウントビリティ、慎重さ及び費用対効果の原理に常に基づいていると述べた。また、同大臣は、政府は引き続き、財政ガバナンスシステム及び不正行為の検出・予防を強化していくとも発言した。

6. ムワナカトウェ財務大臣、赤字を記録している国営企業に警告(Daily Nation, 28日)

リビングストンにおいて開催された第2回ザンビア産業開発公社(IDC)年次会議において、ムワナカトウェ財務大臣は、国家財源に資するどころか国庫の負担となっている、赤字を記録している国営企業への資金供給を今後実施しないと発言した。また、同大臣は、「国営企業再建のために我々が開始した改革は失敗しない。改革を拒否する企業の重役及び社長を許容しない」とも発言した。

7. 日本政府、ビジョン2030の支援を表明(Times, 31日)

日本政府による事業をハイライトするためにルアブラ州において実施されたプレスツアーで、側嶋駐ザンビア日本国大使は、農業や安全で清潔な水へのアクセスのように人々の生活向上に資する開発プロジェクトを通して、日本政府はザンビアと協力していくと述べた。側嶋大使は、日本はザンビアとの農業分野での協力を重視しているため、当該分野の発展のために、ハイレベルの専門家を派遣していると発言した。